

第13回・第14回 仙台医療センター・がん診療連携講演会

2025年は第13回を2月25日、第14回を6月17日の2回のがん診療連携講演会を開催しました。以下、簡単に講演会の概要を説明させていただきます。

第13回「MRI画像誘導適応放射線治療とPRRTを知る」

東北大学・放射線治療科教授 神宮啓一先生

放射線治療は治療機器のデバイスの違いで対象疾患や治療方法が異なるため機器を所有する各病院でそれぞれ特徴がある部分です。陽子線治療→ガンマナイフ治療→サイバーナイフ治療と講演会を進めてきましたが、東北大学で3年前から導入されたMRI画像誘導リニアック（エレクタ・ユニティ）とRI内用療法の中でも最新のペプチド受容体放射線核種療法（PRRT）について講演していただきました。



MRIリニアックの導入は日本国内でまだ4か所に留まっており、もちろん東北地方では東北大学だけです。MRI得意な軟部組織を連続的に観察しながら治療を進められ、高精度化により副作用も軽減できることが特徴です。特に力を入れているのは前立腺がんの寡分割照射で1回線量を上げて照射回数を減らしても治療効果は変わらないことを示し、特に東北大では週末の土曜に2回の照射で治療を終了するというプロトコルで良い治療成績をあげているということでした。

PRRTの方は神経内分泌腫瘍（NET）の新しい治療法で4年前に保険適応となりました。治療施設は各県に一か所程度で放射線管理区域を持つ医療機関に限られており、宮城県では残念ながら今のところ東北大学だけです。それまでの徐放性のオクトレオチド製剤投与と比較して圧倒的に優れた治療成績であり、現在もなお治療を待つ待機患者さんが沢山います。（https://youtu.be/SRAkHW9DZsM?si=z16FqL_97LKj5vHD）

第14回「乳癌での遺伝子パネルの活用のしかた」

東北大学 総合外科（現 東北医科薬科大学）乳腺・内分泌外科 多田寛先生

女性でがん罹患率の最も高い乳がんの遺伝子パネル検査を用いた最先端の薬物治療について講演していただきました。乳がんの薬物療法はホルモン療法・分子標的薬・殺細胞抗がん剤・免疫チエ

仙台医療センター基本理念

最善の医療を尽くして社会に貢献します。
患者さんにやさしく働きがいのある病院を目指します。

〔基本方針〕

- ① 医療の質の継続的改善
 1. 地域との医療連携と情報共有
 2. 社会のニーズに対応した病院経営
 3. 質の高い医療従事者の育成
 4. 職員の働く環境の改善
- ② 臨床研究の活性化

目次

- ※第13回・第14回仙台医療センターがん診療
連携講演会1~2
- ※新任医長紹介 2
- ※各科紹介 形成外科 3
- ※web予約システム開始(脳神経外科・外科) ... 4
- ※新登録医紹介 4
- ※編集後記 4



ックポイント阻害薬が入り乱れており非常に複雑であるところを歴史を紐解きながら判りやすく解説いただきました。

パネル検査は標準治療がある程度終了した患者さんが保険適応でしたが、近年、乳がんにおいてパネル検査の結果を見ないと使用出来ない新薬も使用可能となり、関連遺伝子の無償検査プログラムも開始され早く検査が可能となってきているとのことでした。

また東北大学の乳がんパネル検査の有用症例を多数紹介いただきました。2025年秋には日本国内のがん遺伝子パネル検査施行総数が10万件を超えたと国立がん研究センターから報告があり、約12%程度に何らかのがん関連遺伝子情報が得られたようで、今後ますます症例が増えていくことが予想されます。

(https://youtu.be/3ON_PCy30_8?si=qPbm3Dh8L085Gf3S)

以上の講演は講師の許可をいただきYouTubeの仙台医療センター【公式】チャンネルでいつでも閲覧可能です。是非ご覧ください。



(文責：がん診療連携室長 鈴木貴夫)

新任医長紹介



乳腺外科医長

いとう じゅん
伊藤 淳

- 医学部卒業年…平成12年
- 出身地…福島県郡山市
- 出身大学…福島県立医科大学
- 専門領域…乳腺外科
(乳腺画像診断、乳がん手術、薬物療法)

● 抱負

このたび、2026年1月より乳腺外科医長を拝命いたしました伊藤 淳です。

宮城県の乳がん診療の発展に貢献できますよう尽力してまいりますとともに、患者さんお一人おひとりの不安に寄り添い、地域の皆様、先生方に信頼いただける医療を提供してまいります。ご指導のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



脳神経内科医長

わたなべ げんや
渡辺 源也

- 医学部卒業年…2007年度卒
- 出身地…宮城県大崎市
- 出身大学…自治医科大学
- 専門領域…脳神経内科全般、神経免疫疾患

● 抱負

2015年10月より、当院脳神経内科に着任し、2026年1月より医長を拝命しました。当院では、脳血管障害やてんかん、髄膜脳炎等の急性期疾患を中心に、パーキンソン病等の変性疾患、重症筋無力症や脊髄炎等の免疫疾患と幅広い神経疾患を診療しております。今後も大学病院や開業医の先生方と連携して、仙台医療圏だけではなく全医療圏にお役立てできるように尽力して参ります。何卒よろしくお願いいたします。

各科紹介

形成外科

総合外科部長 鳥谷部 荘八



— 地域の先生方が「安心して紹介できる」形成外科を目指して —

仙台医療センター形成外科は、日本形成外科学会認定施設および日本手外科学会基幹施設の双方に指定されている、宮城県内で唯一の施設です。

形成外科全般の診療に加え、**手の外科・耳の外科を専門的診療の中核として**、東北地方における高度形成外科医療を担っています。

2010年4月より、東北大学形成外科の「手の外科・耳の外科グループ」が当科に移管されました。以来、大学病院と同等の専門性を維持しつつ、「紹介しやすく、戻しやすい」地域中核病院としての役割を大切に診療を行っています。

「この疾患、形成外科で良いのだろうか」「どこまで診てもらえるのか」

そのような場面で、**まず相談できる形成外科**でありたいと考えています。

■当科の診療の特徴

「ここまでなら任せられる」形成外科

当科の最大の特徴は、形成外科の中でも特に**手外科および耳介外科に高い専門性を有している点**です。

手の先天異常、外傷、変性疾患、再建までを**一施設で完結できる体制**を整えており、「東北ハンドサージャリーセンター」として全国各地から患者様を受け入れています。

また、形成外科と整形外科が密に連携し、**重度四肢外傷や複雑再建を同一チームで診療**している点も当科の強みです。遊離皮弁、有茎皮弁、植皮などマイクロサージャリーを含む再建手術を、症例に応じて適切に選択します。

■対象疾患

「この患者さん、紹介して大丈夫です」

形成外科では、体表面の形態および機能に関わる疾患を広く扱っています。

先天性疾患としては、**手足や耳介の異常、臍ヘルニア**など、外傷では**顔面・手指外傷、切断指、神経・腱損傷、熱傷**を主に診療しています。

口唇裂・口蓋裂は大学病院が担当しています。

小児の**皮膚・皮下腫瘍、瘢痕拘縮や組織欠損**に対する形成術も扱います。大人の**皮膚腫瘍・皮下腫瘍**は近隣の形成外科をご紹介することもあります。血管腫・血管奇形は大学病院、異所性蒙古斑などの**保険診療**による**レーザー治療**はこども病院が担当します。

また褥瘡や糖尿病性足潰瘍などの難治性潰瘍については、診療の集約化の観点から当院では対応しておりません。

対象・非対象を明確にし、先生方が迷わず紹介できる体制を心がけています。

手外科診療 — 「どこまで対応可能か」

当科では、一般的な形成外科で扱われる手の先天異常や外傷に加え、**より複雑で高度な手外科手術**を数多く行っています。

複雑骨折や骨欠損（上肢全体にわたるまで）、皮膚・軟部組織欠損、多発外傷（手・前腕・肘関節）、麻痺手の再建、関節リウマチ手の再建、絞扼性神経障害（手根管症候群、ギヨン管症候群、肘部管症候群）、良性・悪性腫瘍など、**「手に関する手術はほぼすべて対応可能」**です。

特に**多指症をはじめとする先天異常**、**切断肢指（指先から肩レベルまで）**については、東北地方でも最多の症例数を有しています。

他院術後の症状遷延例、しびれや痛みが改善しない症例についてのご相談も歓迎しています。

耳介の外科 — 「耳の形は形成外科へ」

耳介の外傷や変形は、形成外科が専門的に担当すべき領域です。

当科では、耳介切断や耳介血腫などの外傷から、小耳症、副耳、埋没耳、折れ耳、耳瘻孔などの先天異常、耳介腫瘍まで幅広く対応しています。

特に、生後早期の耳介変形に対しては**早期矯正治療**を積極的にを行い、将来的な手術を回避できる可能性を重視しています。

「赤ちゃんの耳の形が気になる」という段階で、どうぞご紹介ください。

■地域の先生方へ

「まずは気軽にご相談ください」

当科では、ご紹介いただいた患者様に対し、責任をもって専門診療を行い、適切なタイミングで地域の先生方へお戻しすることを基本方針としています。

手指外傷・急患については、**24時間365日、原則としてお断りしない体制**を敷き、形成外科専門医・整形外科専門医・手外科専門医が連携して対応しています。

「この疾患、形成外科で良いのか迷う」「緊急性があるが、どこに送るべきか」

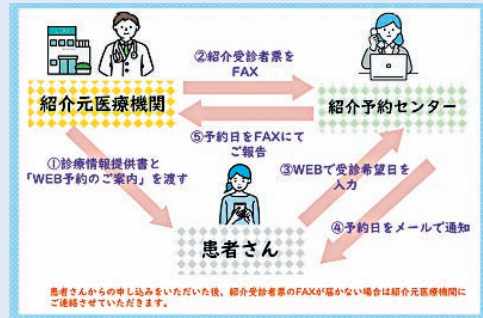
そのような場面で、**まず仙台医療センター形成外科**を思い出していただければ幸いです。



WEB予約システムを開始いたしました (脳神経外科・外科)

令和8年2月より地域医療連携の強化と患者様の利便性向上を目的として、WEB予約システムを開始いたしました。現在は脳神経外科と外科のみですが、対象診療科は順次拡大していく予定です。詳細はホームページでもご確認いただけます。

- ①診療情報提供書と共にQRコード付きの案内チラシ（WEB予約のご案内）を患者さんにお渡しください。
- ②患者さんへWEB予約システム案内後、当院にFAXにて紹介受診者票をお送りください。
- ③患者さんにWEBで受診希望日を入力していただきます。
- ④当院から患者さんに、予約日をメールにて通知いたします。
- ⑤当院から紹介元の先生に、予約日をFAXにてご報告いたします。



新登録医紹介

(令和8年1月31日現在の登録医数 1,666名)

氏名	住所	所属名	専攻
板橋智恵子	泉区泉中央3丁目18-6	かえる在宅クリニック	内科
川越 徹彰	青葉区木町通2丁目3-14 セトSGビル3階	やまと在宅診療所仙台北	内科・外科・皮膚科
岡田 修子	泉区泉中央1丁目15-2	おかだしゅうこ皮ふ科	皮膚科
富永浩一郎	泉区泉中央1-4-1 セルバ5階	泉新都心ビル眼科	眼科
新海 準二	富谷市上桜木2丁目3-14	上桜木しんがい脳神経外科	脳神経外科・神経内科・内科・外科
石田 智之	宮城郡利府町加瀬字北窪16-1	加瀬クリニック	小児科
妹尾 匡人	青葉区一番町3丁目8-11 アクアセカドビル3F	一番町 Lino レディースクリニック	婦人科・産科
泉山 泰宏	宮城野区新田東1丁目17-5	小鶴新田内科・内視鏡クリニック	内科・消化器内科・内視鏡内科・肝臓内科
長池 博史	青葉区中央3-4-2 2F	長池デンタルクリニック	歯科・小児歯科・歯科口腔外科
渡辺 隆紀	宮城野区榴岡3-11-18 プレノ榴岡1F	榴岡わたなべクリニック	乳腺外科・外科・内科・呼吸器内科

編集後記

春の訪れを感じる頃になりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？この時期は出会いと別れの季節ですね。私事ですが、先日入職当時に仕事をしていたメンバーで集まる機会がありました。懐かしい顔ぶれに、昔を思い出すとともに旧病院での出来事などを思い描く時間となりました。当時の写真をカラージュした映像も流れ、あの頃の話に始まり、結婚や出産、東日本大震災、病院の引っ越し、新型コロナなど……。それぞれの現状に加えて話に花を咲かせるひと時となり、楽しい時間をすごしました。これからはじまる新しい年度には、また新たな経験も出会いも待っていそうです。その一つ一つを乗り越えて、少しずつ成長できるように頑張りたいと思います。

(N・I)

仙台医療センター地域医療連携室だより 編集委員

新倉 仁 館田 勝 犬上 直美 阿部 直美

小倉 美緒 工藤 千春 須田 剛 加藤 知巳 菅野 龍二 峯田 真衣 岩渕 由香

<地域医療連携室 直通電話 022-293-1118>